



東証スタンダード市場
証券コード:9233



2026年9月期(第79期)

第2四半期(中間期) 決算補足説明資料

アジア航測株式会社



1. 連結決算の概要と業績予想	3
• 業績サマリ・ハイライト	
• 事業区分別概要と決算の状況	
• 2026年9月期連結業績予想	
2. 中期経営計画の概要	11
• 「長期ビジョン2033」と「中期経営計画2026」の位置づけ	
• 中期経営計画2026の概要	
• 配当方針	
Appendix	26

1. 連結決算の概要と業績予想

第79期 2026年9月期中間期 業績サマリ(連結)

連結業績

- 長期ビジョン2033の第1フェーズとして策定した中期経営計画2026の最終年度として、主要分野事業を柱としながら、事業領域の拡大等に取り組んでまいりましたが、公共事業に関わる年度予算成立の遅れ等の影響もあり、受注高、売上高ともに前年同期比減となりました。
- 売上高の減少、また諸物価高騰等や、IT・DX、人財への投資強化に伴う販売費及び一般管理費が増加したことにより、営業利益・経常利益についても前年同期比減となりました。

業績サマリ・前年同期比

(単位:百万円、百万円未満切り捨て)

項目	第78期 2025年9月期 中間期	第79期 2026年9月期 中間期	増減	増減率
受注高	18,553	16,289	△2,263	△12.2%
売上高	24,575	23,627	△947	△3.9%
売上原価	16,724	16,128	△595	△3.6%
売上総利益	7,851	7,499	△352	△4.5%
販管費	4,012	4,051	38	1.0%
営業利益	3,838	3,447	△391	△10.2%
経常利益	3,678	3,237	△440	△12.0%
親会社株主に帰属する中間純利益	2,431	2,081	△350	△14.4%



概況

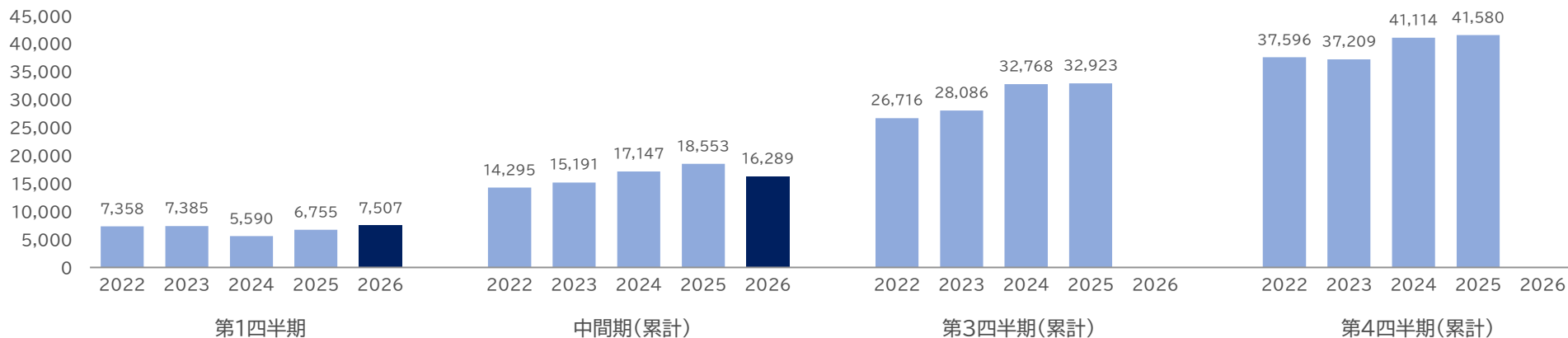
- 日本の総合経済政策の中に「防災・減災・国土強靱化の推進」が掲げられ、自然災害の復旧・復興や防災・減災、国土強靱化が進められていること、また、脱炭素社会の実現やエネルギーの安定供給への需要も高まっていることから、市場は今後も順調に推移するものと期待されますが、当中間連結会計期間においては公共事業に関わる年度予算成立の遅れもあり、前年同期比12.2%減となりました。

■受注高・前年同期比

(単位:百万円、百万円未満切り捨て)

	第78期 2025年 中間期	第79期 2026年 中間期	増減率
受注高	18,553	16,289	△12.2%

■参考:四半期累計の受注高の推移(過去5カ年)





概況

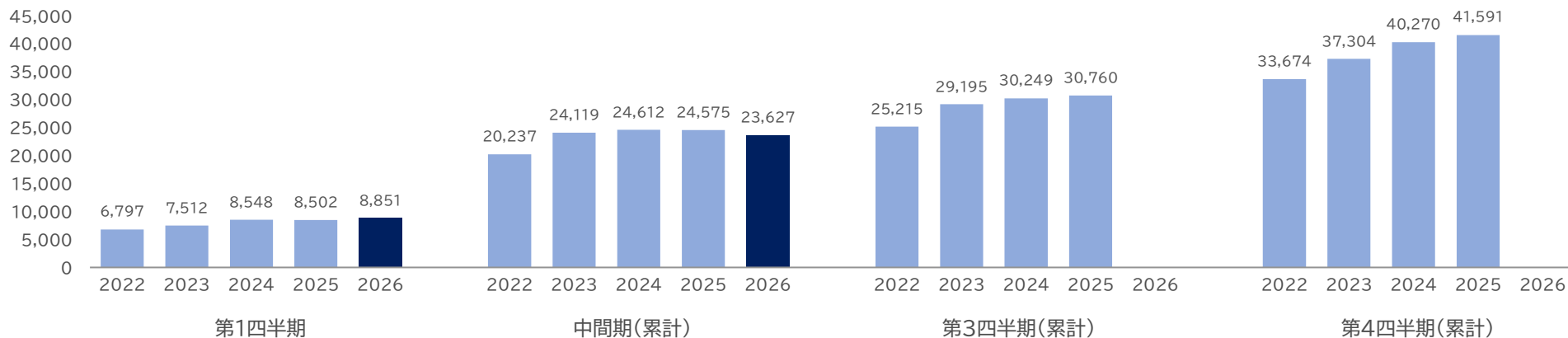
- 高精度なセンシング機材を活用し、多発する自然災害の激甚化・広域化に対応するための国土の3次元地形データ整備や、都市・森林・インフラ設備等の3次元計測が順調に推移しました。
- また、AI活用やロボット点検、脱炭素社会の実現に関連した事業等にも積極的に取り組んでまいりましたが、公共事業に関わる年度予算成立の遅れ等の影響もあり、前年同期比3.9%減となりました。

■売上高・前年同期比

(単位:百万円、百万円未満切り捨て)

	第78期 2025年 中間期	第79期 2026年 中間期	増減率
売上高	24,575	23,627	△3.9%

■参考:四半期累計の売上高の推移(過去5カ年)





概況

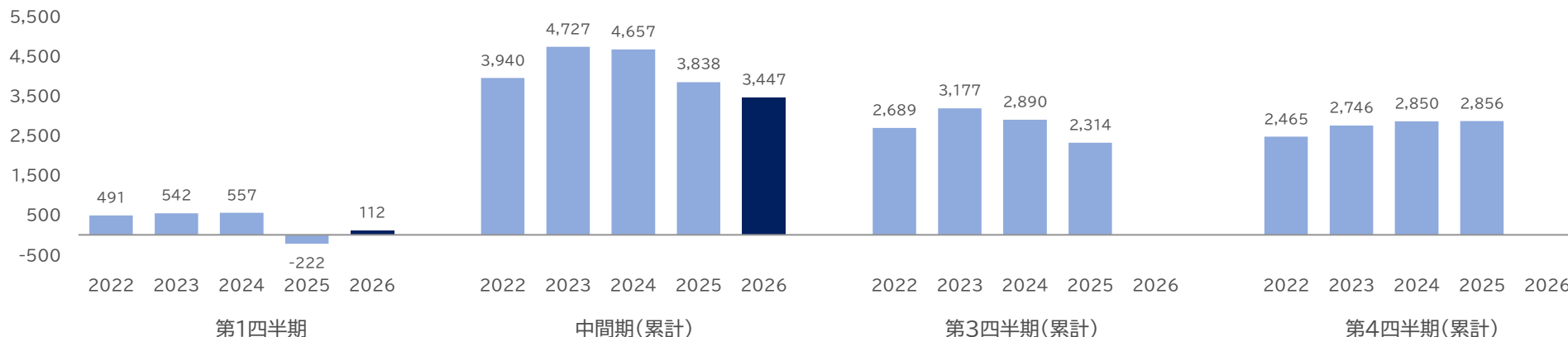
- 生産構造改革を継続的に進めるため、技術開発投資や最先端計測機器等への設備投資を行いました。
- AAS-DX推進のためのネットワーク整備やセキュリティリスク対策等のIT基盤整備に投資しました。
- 従業員の働き方改革の一環として、人財への投資にも引き続き計画的に取り組んでいます。
- 上記投資を拡充してきた他、諸物価の高騰、人件費増加等の影響により、今期の結果は前年同期比10.2%減となりました。

■営業利益・前年同期比

(単位:百万円、百万円未満切り捨て)

	第78期 2025年 中間期	第79期 2026年 中間期	増減率
営業利益	3,838	3,447	△10.2%

■参考:四半期累計の営業利益の推移(過去5カ年)

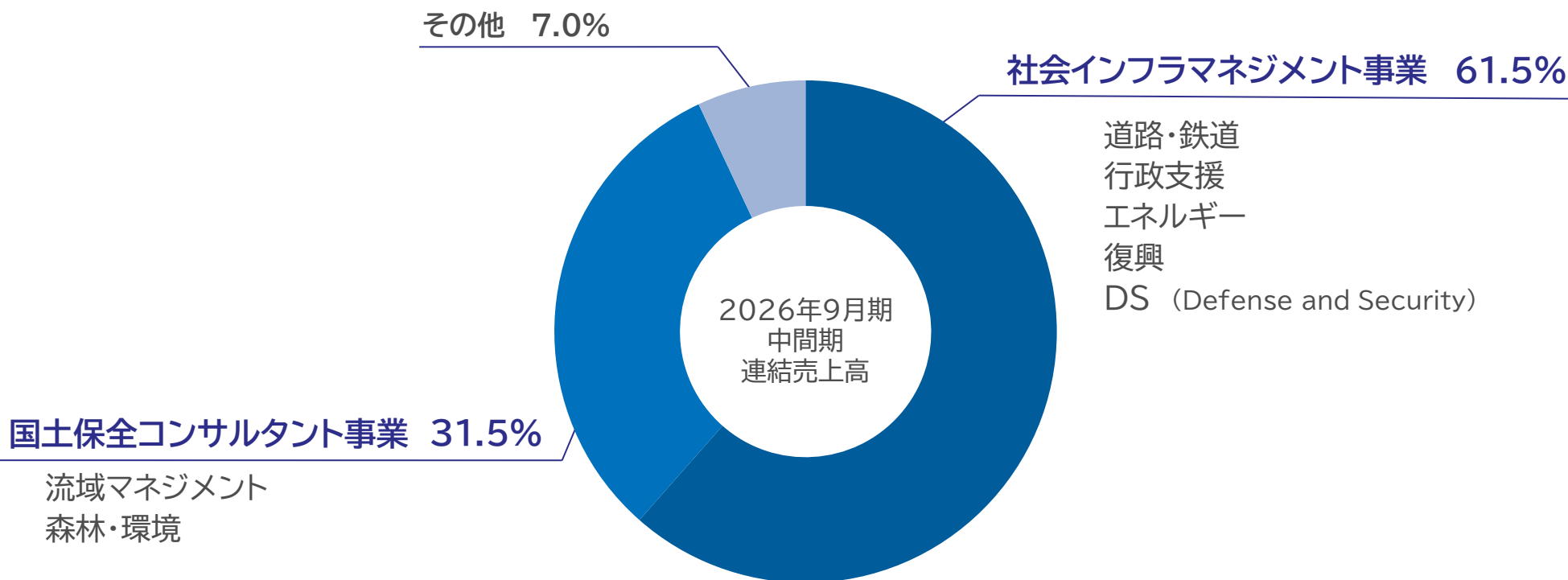


事業区分別売上高の概況(連結)



概況

- 当社グループは、空間情報コンサルタント事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載に代えて事業区分別の概況を示します。
- 売上高に占める各構成比率は、社会インフラマネジメント事業が61.5%、国土保全コンサルタント事業が31.5%、その他が7.0%です。





社会インフラマネジメント事業

- DS分野が受注高を牽引しました。受注高はエネルギー、行政支援、復興分野で前期比増、売上高は行政支援分野のみが前期比減となりました。
- 行政支援分野では3D都市モデルやデジタルツインを活用したスマートシティ関連サービスの実装に向けた取り組みを進めました。また、上下水道、道路・鉄道施設等のインフラマネジメント分野においては、空間情報技術を駆使し、点検・維持管理に加え、計画策定や更新支援、現場計測の効率化や安全性向上の実現を含めた一体的な支援を展開しました。

国土保全コンサルタント事業

- 流域マネジメント、森林・環境分野では、受注高、売上高ともに前期比減となりました。
- 流域マネジメント分野では、流域治水の高度化をテーマに国土強靱化、土砂・洪水対策に資する航空レーザやUAV、衛星データを活用した解析評価や施設点検等に取り組みました。森林・環境分野では、林野火災やクマ対策に関する監視、webマッピング等のソリューションを展開しています。また、令和7年度森林技術コンサルタント業務コンクールにおいて林野庁長官賞を受賞しました。

事業区分別業績・前年同期比較

(単位:百万円、百万円未満切り捨て)

事業区分	第78期 2025年 中間期			第79期 2026年 中間期			比較増減 (増減率%)		
	受注高	受注残高	売上高	受注高	受注残高	売上高	受注高	受注残高	売上高
社会インフラマネジメント事業	12,212	14,176	14,396	10,931	14,412	14,540	△1,280 (△10.5%)	236 (1.7%)	143 (1.0%)
国土保全コンサルタント事業	4,663	3,147	7,656	4,409	3,530	7,437	△254 (△5.4%)	382 (12.2%)	△219 (△2.9%)
その他	1,677	1,507	2,522	949	763	1,649	△728 (△43.4%)	△743 (△49.3%)	△872 (△34.6%)
合計	18,553	18,831	24,575	16,289	18,706	23,627	△2,263 (△12.2%)	△124 (△0.7%)	△947 (△3.9%)

2026年9月期連結業績予想



業績予想

- 社会基盤の維持において重要な位置づけとなる社会インフラ施設の維持管理や超スマート社会の構築、3D都市モデルを含む国土基盤情報の整備、防災・減災対策の推進等、国土強靱化やデジタル改革の加速化、脱炭素社会の実現を背景とした公共投資等への対応として、売上高、利益ともに前期比増を予想しております。

■通期 連結業績予想

(単位:百万円、百万円未満切り捨て)

	第78期 2025年 9月期 実績値	第79期 2026年 9月期 業績予想	前年比増減	
売上高	41,591	45,000	3,408	8.2%
営業利益	2,856	3,000	143	5.0%
営業利益率(%)	6.9%	6.7%	-	-
経常利益	3,023	3,070	46	1.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,803	2,030	226	12.6%
1株当たり年間配当金	44	44	-	-
配当性向	44.4%	39.4%	-	-

2. 中期経営計画の概要 (2023年10月～2026年9月)

「長期ビジョン2033」と「中期経営計画2026」の位置づけ

長期ビジョン2033(2023.10~2033.9)

『空間情報技術で社会をつなぎ、地球の未来を創造する』

目指す姿

1. 新たな空間情報技術の深化と探究により社会に貢献し続ける企業
2. センシング技術に挑み、社会にイノベーションを提供し続ける企業
3. 社会のサステナビリティ構築に向けて技術や事業を提供し、持続的な成長を続ける企業
4. ステークホルダーとのエンゲージメントを高め、従業員と社会の幸せを共に創り続ける企業
5. 経営基盤の強化に努め、透明性が高く、社会から信頼され続ける企業

経営目標

財務

2033年9月期

売上高 **600**億円 営業利益 **45**億円 ROE **10**%

非財務

CO2排出量 2030年までに**42**%削減
(2020年度比)

※サステナビリティ、多様性・人的資本、コーポレート・ガバナンス等に関する情報は、有価証券報告書等において開示

中期経営計画2026

フェーズ

第1フェーズ 77期~79期(2023.10~2026.9)

テーマ

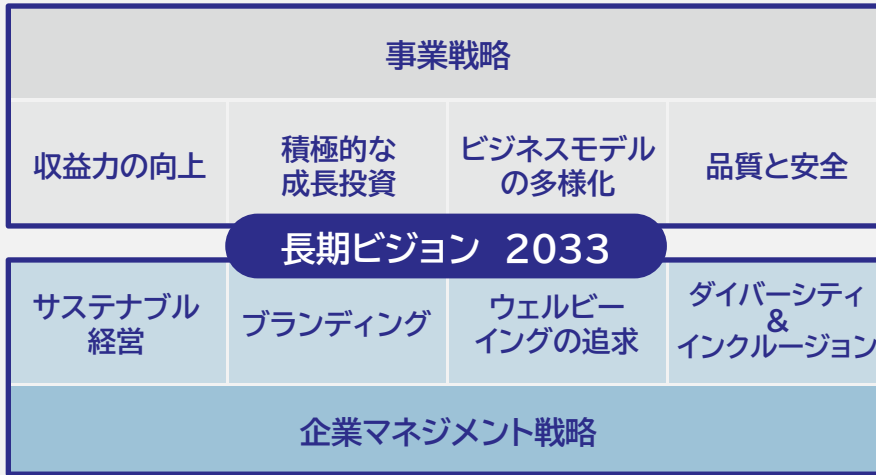
事業ポートフォリオ経営の確立
多様な人財が集まる企業グループの形成

業績目標

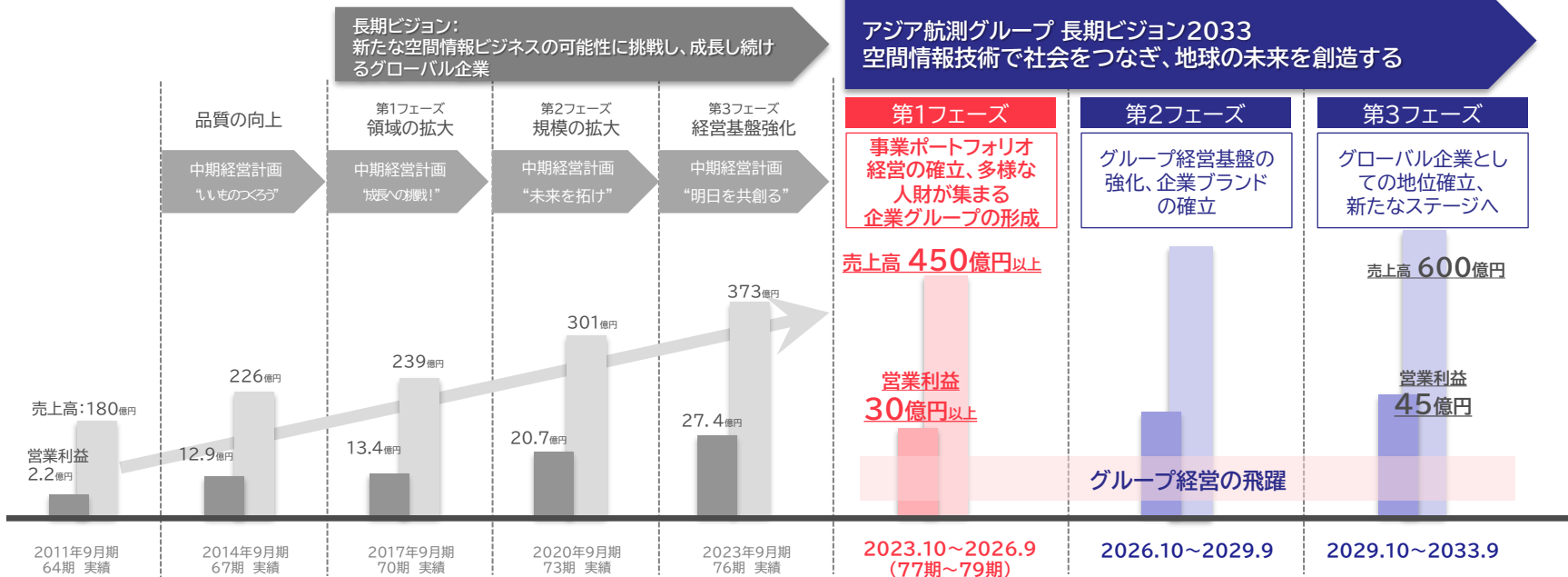
売上高 450億円以上
営業利益 30億円以上 ROE 9%以上

中期経営計画2026の概要

重点施策

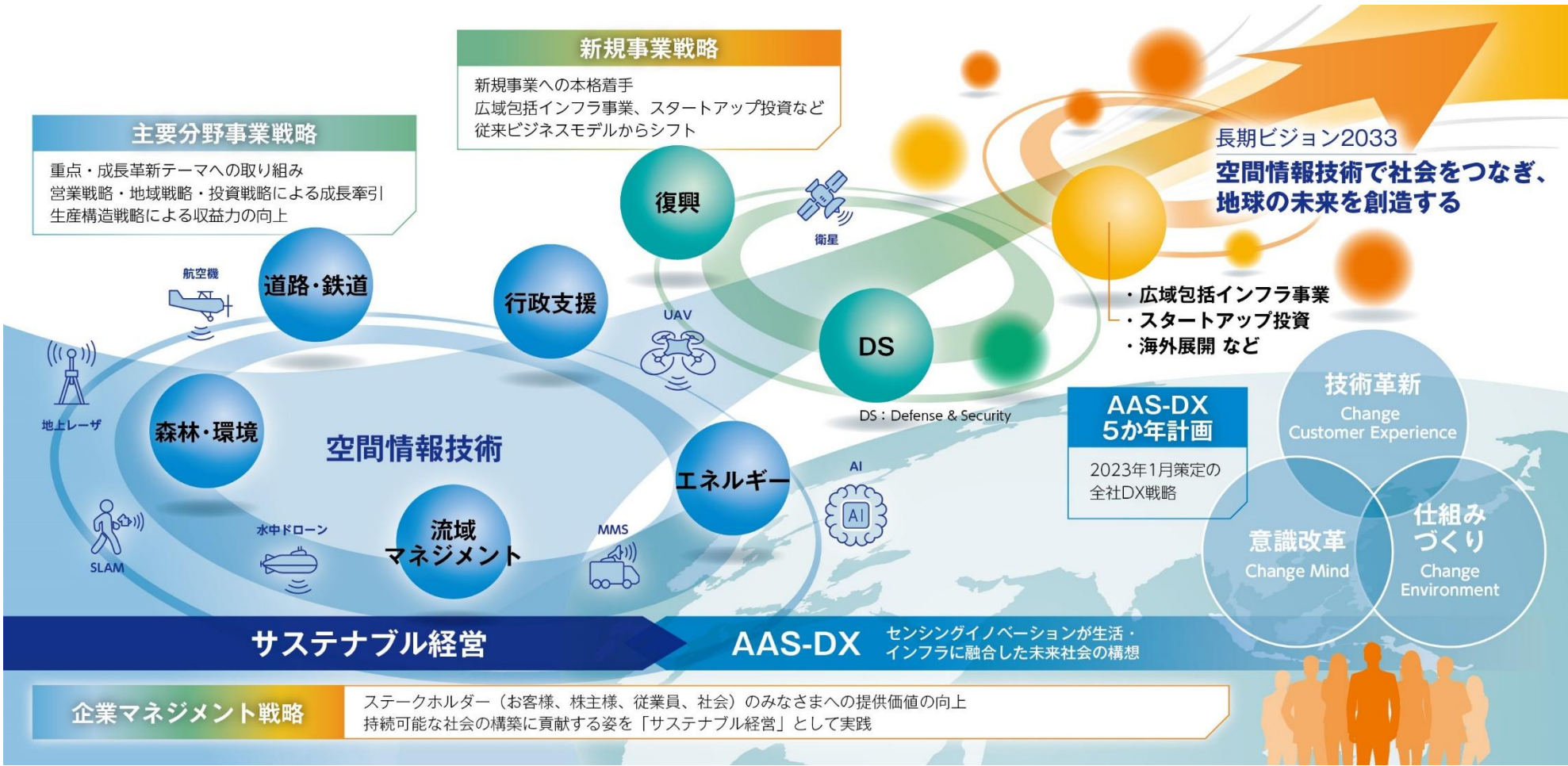


- AAS-DXの推進(AAS-DX5か年計画の推進)
- 主要分野事業の成長・生産構造改革と、新規事業への本格着手(『両利きの経営』の実践)
- 積極的な人的資本投資(育成・採用)と多様性を受容する風土・制度づくり
- 品質と安全の維持・確保
- サステナブル経営
(コンプライアンス・SDGs経営の維持・発展)



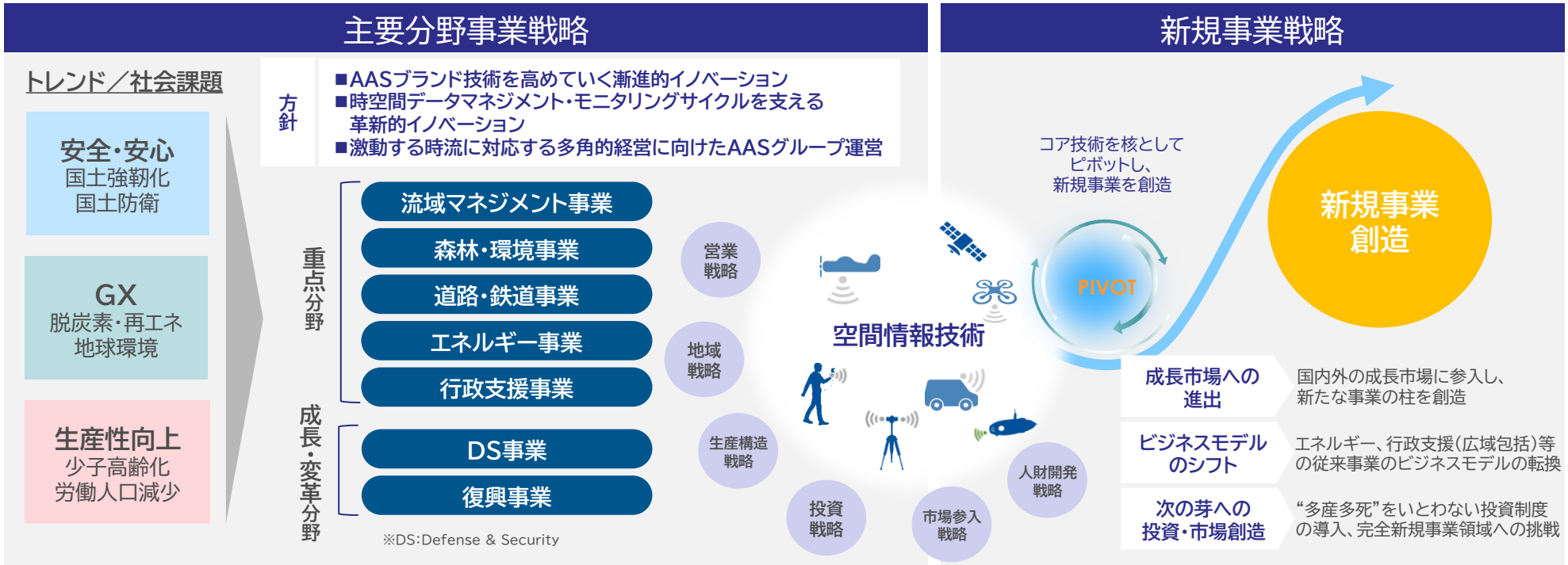
中期経営計画2026の全体像

- サステナブル経営、AAS-DXの思想を土台とし、事業戦略と企業マネジメント戦略の両輪で中期経営計画を構成
- 事業戦略は、空間情報技術を核とし、重点分野、成長・革新テーマ、新規事業への展開、事業ポートフォリオの多様化に取り組む
- 企業マネジメント戦略は、人的資本、安全と品質、脱炭素等をテーマとし、サステナブルな経営基盤を確立



中期経営計画2026 事業戦略

- 「安全・安心」「GX」「生産性向上」などの社会からの要請を背景に、当社のコア技術「空間情報技術」を核とし、主要分野事業、新規事業、分野横断の3つの観点から戦略を策定
- 事業ポートフォリオの強化に向け、新規事業創造、海外展開、M&Aに積極的に取り組む





中期経営計画2026 企業マネジメント戦略

● ステークホルダー(お客様、株主様、従業員、社会)のみなさまへの提供価値の向上=「企業価値向上」を基本思想とし、私たちの提供価値そのものが持続可能な社会の構築に貢献する姿を「サステナブル経営」として実践

企業価値向上戦略

お客様価値	安全意識の向上・法令順守を基本に優れた技術力で安定した品質の成果を提供し、お客様価値の向上に努める	従業員価値	時代に合ったコミュニケーション・職場環境、DXによる効率化や価値向上により、仕事と生活のバランスをとり、より働き続けたい企業へ
株主様価値	安定的な事業運営と成長、IR・PR等を通じた株主様との対話により、安定した関係の構築・維持・発展を目指す	社会的価値	地域社会との共生、エコ・ファースト関連活動を通じ、持続可能で安全・安心な社会の実現に向けた取組みを推進

人的資本戦略

教育・人財育成 健康経営推進	キャリアパス・教育の体系化と実践 ワークライフバランスの推進による 魅力ある企業づくり	
人事制度改革	従業員がライフステージに応じた働き方を 実現できる制度の充実化 人口減少社会を見越した採用施策の実施	

脱炭素戦略

脱炭素目標	CO2排出量42%削減(2030年) の目標達成に向けた取組み推進 SAF、再エネ電力の活用促進	
カーボン オフセット	計測技術を用いた森林クレジット 創出、SAF利用によるカーボンオフ セットの組み込み	

安全品質ガバナンス

安全確保 品質改善	航空安全や成果品質の改善サイクルの構築 総品質コストの最適化に向けた投資の実施	
ガバナンスの 維持・向上	コンプライアンス経営の徹底 不正・不祥事を許さない・生まない経営	

事業継続

BCM・BCP	事業継続関連規定・マニュアル類の充 実、マネジメントサイクルの継続的改善 レジリエンス認証の維持	
代替拠点	首都圏直下型地震等の大規模災害発生時を 想定した代替拠点の機能検討と整備	

資本戦略

投資家・市場 への対応	流通性の改善、株主還元の拡大 コーポレートガバナンスコードへの対応	
IR・PR	情報開示・発信の充実、投資家との対話促進 サステナビリティサイト、統合報告書等を通じ た情報発信サイクルの運用	

IT・DX戦略

DX5か年計画	DX5か年計画に基づく各種施策実行 DX認定の維持、DX認定事業者とし て先進的な取組みの推進	
各種 IT施策	新基幹システムの運用定着と活用推進 サイバーセキュリティ対策、ネットワーク冗長化 等のインフラの強化	

経済産業省・東京証券取引所による「DX 注目企業 2026」に選定

- 2026年4月「DX 注目企業2026」に選定されました。2022年、2024年、2025年に続き通算4回目となり、3年連続の選出となります。
- 当社は「AAS-DX」を経営の根幹に位置づけ、2023年に策定した「AAS-DX5か年計画」に基づき、「意識改革」「仕組みづくり」「技術革新」の3本柱で全社的にDXを推進しています。
- 社内生成AI「αGeAI」の全社展開や、空間情報技術と生成AIを組み合わせた新サービス開発を進めるなど、事業変革と生産性向上の両立に取り組んでいます。



DX注目企業2026 Digital Transformation



【技術革新】 技術開発スコープ



アドソル日進と戦略的パートナーシップを締結

- 当社はアドソル日進株式会社と戦略的パートナーシップを締結し、地理空間情報のDX(3次元、時間管理)を通じて、デジタルツインのまちづくりを実装フェーズへと展開します。
- 当社の空間情報・測量データ技術と、アドソル日進のGIS・衛星データ×AI・IoTを融合し、スマートシティ統合プラットフォームサービス(都市OS)の構築・提供を進めます。
- 両社それぞれの成長を加速させるとともに、中長期的なシナジーとして、エネルギー・安全保障などの社会インフラ企業や国・地方自治体のDX推進に不可欠なGISソリューション及び都市OSの共創を目指します。





「首都高 Open Innovation Challenge -Robotics & Software-」に採択

- 当社は、首都高速道路株式会社主催の「首都高 Open Innovation Challenge -Robotics & Software-」に応募し、2025年12月に採択されました。
- 本プログラムは、首都高の維持管理業務に革新をもたらすロボット・ソフトウェア技術を対象に、社会実装を目指す取り組みです。
- 当社はこれまでもインフラ施設の巡視点検を対象としたロボットソリューションの開発・実証に取り組んできました。今回、高速道路の換気所で省人化・効率化に向けた実証を行い、インフラ業界の人手不足解決に貢献していきます。



首都高 Open Innovation Challenge – Robotics & Software –



当社が巡視点検で活用しているロボットの一例



ドローン測量のレベル4飛行に向けた実証実験を実施

- 2025年11月、パーソルビジネスプロセスデザイン株式会社と共同で、測量分野におけるレベル4飛行※1の実現に向けた「レベル3.5飛行※2の実証実験」を実施しました。
- 測量用途では例の少ない有人地帯での目視外飛行を見据え、レベル3.5飛行による検証を行い、将来の運用方法や技術課題を整理しました。
- 河川・砂防施設を対象に計測・3Dモデル化を実施し、測量・点検分野での目視外飛行の有効性と、今後の社会実装に向けた知見を得ました。

※1 レベル4飛行

有人地帯における、補助者なし目視外飛行

※2 レベル3.5飛行

無人地帯における、補助者なし目視外飛行



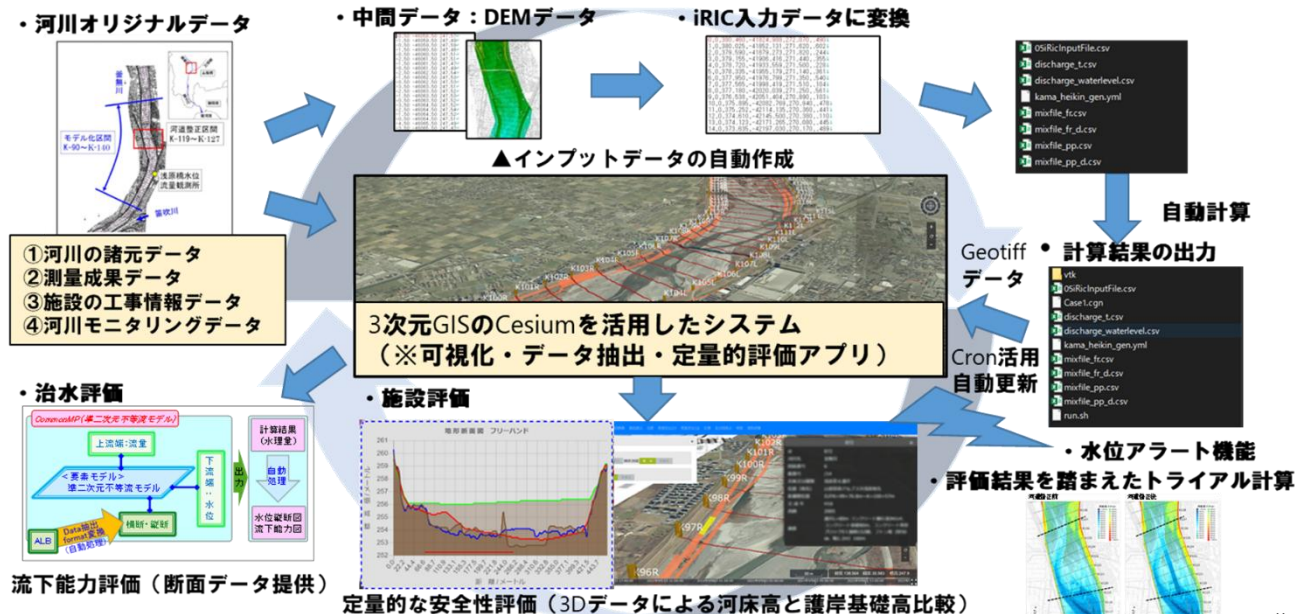
実証実験の様子



本実証で作成した3Dモデル

3DWebGISを活用した河川管理検討プロセスの高度化・省力化システム「X-EVA」(クロスイーバ)の共同開発

- 東京大学、日本工営株式会社、株式会社建設技術研究所と連携し、3DWebGISを活用した河川管理検討プロセスの高度化・省力化システム「X-EVA」を共同開発しました。
- 航空レーザ測深(ALB)等で取得した3D河道データと河床変動解析結果を統合し、河道や護岸のリスクを3DWebGIS上で一元的に可視化します。
- 河川管理のDX推進を通じ、河川管理者の意思決定支援や維持管理業務の効率化、安全性向上への貢献を目指します。



河川管理検討プロセスの高度化・省力化システム「X-EVA」(クロスイーバ)の全体像※1

※1 藤原圭哉, 佐藤誠, 山下千智, 黒田直樹, 亀田敏弘:
3Dデータと河床変動解析を活用した河川分野における
デジタルツインの実現に向けての提案, AI・データサイエンス
論文集, 5巻1号, pp126-133, 2024.



リニューアル

- 2025年10月、釣り人向けWebアプリ「釣りドコ」をリニューアルし、サービス強化を図りました。
- 海底地形図の全画面表示や、釣果以外の釣り場情報表示を可能とし、地図起点での情報活用により利便性を向上させました。
- 距離計測・風況マップの課金機能を追加するとともに、江ノ島沖の新エリアを公開し、付加価値向上と収益機会拡大を目指します。



全画面表示例



釣り場案内例

「釣りフェス2026 in Yokohama」に釣りドコを出展

- 2026年1月に開催された「釣りフェス2026 in Yokohama」に出展し、リニューアルした釣りドコの展示を行いました。
- 限定ノベルティ配布を通じて会員登録を促進し、ユーザー基盤拡大に向けた直接的な接点創出につなげました。



当社ブースの様子

城陽市(京都府)水道事業及び下水道事業における包括的民間委託事業

- 2025年9月、当社が参画する「みずパートナーJOYO共同企業体」は「城陽市水道事業及び下水道事業における包括的民間委託事業(以下「本事業」)」の委託契約を締結し、2026年4月1日より履行を開始しました。
- 本事業は、人口減少などに伴う収益の減少や老朽化等による施設更新費用の増大、技術者の確保など、事業継続に関する課題に対応するため、国が推進するウォーターPPPLレベル3.5(更新支援型)※1の枠組みに基づき、城陽市の水道および公共下水道事業を包括的に受託し、将来にわたり安定した事業継続を目指します。
- 今後、10年間の委託期間を通じて、円滑な業務履行に努めてまいります。

※1 PPPLレベル3.5(更新支援型)

通常の施設の包括的な運転維持管理業務に加え、受託者がストックマネジメント計画原案策定業務を担うもので、管理・更新一体型マネジメント方式で維持管理を行い、さらなる効率化を目指すもの



業務開始式の様子



2025年12月8日青森県東方沖の地震

- 2025年12月8日に発生した青森県東方沖の地震により最大震度6強を観測しました。
- この地震により岩手県の久慈港の64cmをはじめとして、北海道から東北地方にかけて太平洋沿岸を中心に津波を観測しました。
- 当社は12月9日に地震、津波等による影響を確認するため、航空機から一部地域の斜め空中写真撮影を実施・公開しました。

【公開URL】

<https://www.aiiko.co.jp/disaster/1727>



岩手県久慈市長内町(久慈港)周辺(2025年12月9日撮影)

東日本大震災より15年 写真アーカイブ公開

- 東日本大震災より15年にあたり、これまで撮りためた写真を整理して公開しました。
- 地震発生の翌日の空中写真、15年間撮りためた地上写真、定点観測写真の3種を公開しています。



地震直後(空からの記録)

<https://arcg.is/1DrPGP1>

地震発生の翌日2011年3月12日午前
から午後にかけて撮影した貴重な空中
写真。



時系列でみる復興の歩み(地上写真)

<https://arcg.is/yOSrn0>

東北3県の被災地を中心に時系列で地
上写真を掲示、復興の流れを大枠でとら
えた。



東日本大震災 復興への記録
(地上定点観測)

<https://arcg.is/1H49jm3>

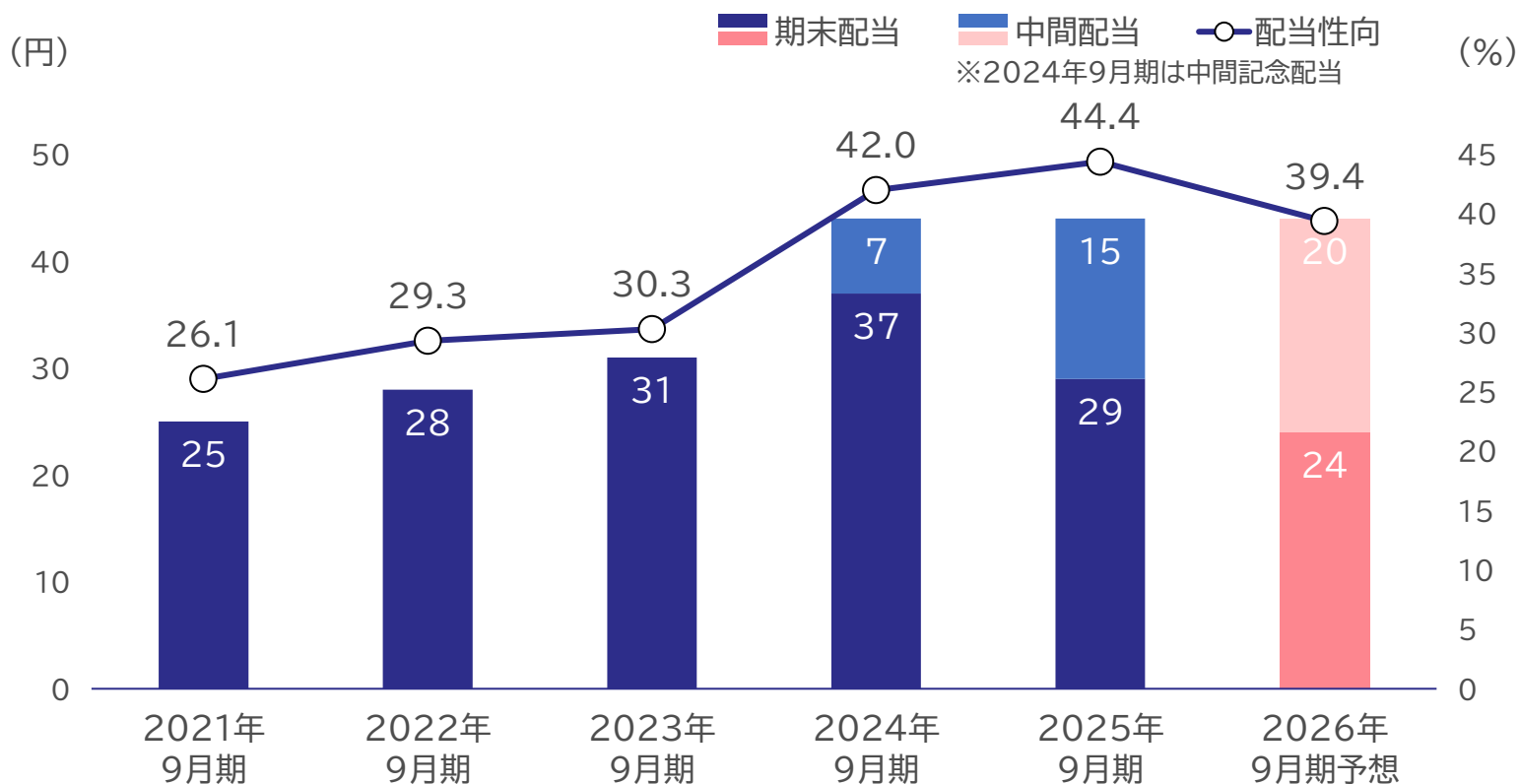
当社「震災復興事業対策本部」システム
WGにおいて記録した地上定点観測写真
の一部。



進捗

- 「配当性向35%以上」を目標とし継続的かつ安定的な株主還元を基本方針として取り組んでいます。
- 2026年9月期は、1株あたり44円(中間配当20円、期末配当24円)、配当性向39.4%の予想としています。

1株当たり配当金および配当性向推移



Appendix

会社概要 Company Profile

会社名	アジア航測株式会社 Asia Air Survey Co., Ltd.
代表者	代表取締役社長 畠山 仁
資本金	16億7,377万円
株式上場	東京証券取引所 スタンダード市場(証券コード:9233)
事業内容	航空機使用事業、測量業、建設コンサルタント業、地質調査業 他
売上高(連結)	415億円(2025年9月期)
従業員(連結)	1,886名(2026年3月末時点)
設立	1954年2月26日
本店所在地	東京都新宿区西新宿六丁目14番1号 新宿グリーンタワービル



環境省と「国立公園オフィシャルパートナーシップ」締結

- 環境省が推進する「国立公園オフィシャルパートナーシップ※1プログラム」に基づき、同省と「国立公園オフィシャルパートナーシップ」を締結しました。建設コンサルタント・航空測量会社としては初の参画となります。
- 当社は自社の計測・可視化技術を用いて、地形を中心とした国立公園の豊かな魅力をお伝えしていく計画です。

※1 国立公園オフィシャルパートナーシップ

環境省と民間企業・団体が相互に協力し、日本が世界に誇る国立公園の美しい景観と、国立公園に滞在する魅力を世界に向けて発信し、国内外からの国立公園利用者の拡大を図ることで、国内外の人々の自然環境保全への理解を深めるとともに、国立公園の所在する地域の活性化につなげるためのプログラム



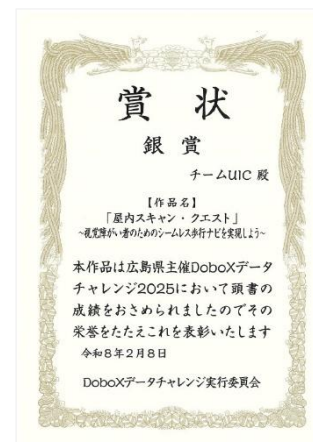
締結式の様子

広島県「DoboXデータチャレンジ2025」で銀賞受賞

- 当社は株式会社Ashirase、復建調査設計株式会社と共同で、広島県インフラマネジメント基盤データ活用コンテスト「DoboXデータチャレンジ2025」に応募し、屋内ナビゲーションの提案が評価され【銀賞】を受賞しました。
- 視覚障がい者向け屋内ナビゲーションの社会実装に向け、住民参加型で屋内空間の3次元計測を行う取り組みを企画・提案しました。



最終審査会の様子



チームUIC
チーム名は当社と復建調査設計が2025年9月に開催した共創アクセラレーションプログラム「Urban Innovation Challenge HIROSHIMA 2025」の頭文字に由来

「AAS-DX白書2025」初発行

- 当社は、事業戦略・企業価値向上戦略のあらゆる側面でDXを推進するため、2023年1月に「AAS-DX5か年計画」を策定し、『意識改革』『仕組みづくり』『技術革新』の3つの柱を軸に取り組みを進めてまいりました。
- 計画策定から3年を経過した現時点での取り組みをとりまとめ、2025年12月23日「AAS-DX白書2025」を初刊行しました。

【URL】

https://www.aiiko.co.jp/doc/aasdx_wp2025.pdf



AAS-DX白書2025

「CSRレポート2025」を公開

- 2026年2月、CSRレポートを公開しました。
- 第13期目の発行となり、当社の企業活動と社会・環境との関わりから、社会や環境への貢献の状況や脱炭素社会実現への取り組みの状況について報告しています。

【URL】

https://www.aiiko.co.jp/csr_img/doc/CSR Report 2025.pdf



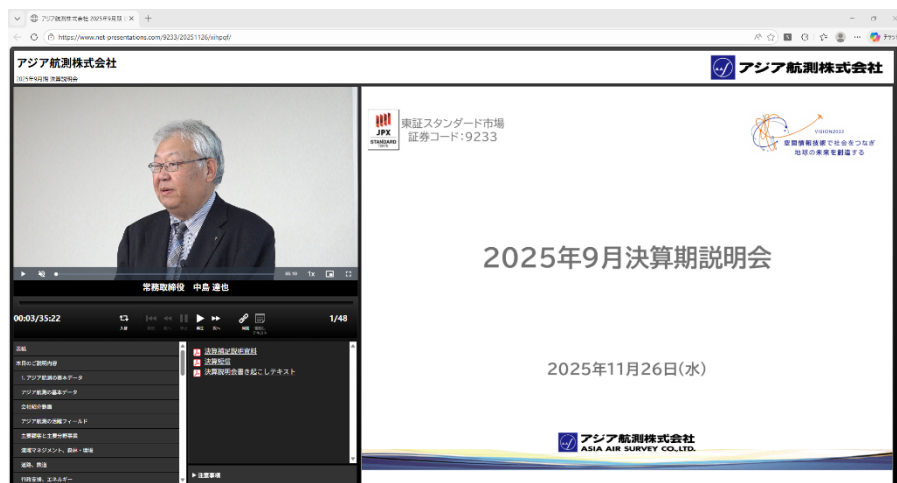
CSRレポート2025

2025年9月期決算説明会開催 コーポレートサイト等への同動画公開

- 2025年11月26日、日本証券アナリスト協会セミナールームにおいて機関投資家様向け2025年9月期決算説明会を開催しました。
- より多くの方にご覧いただけるよう同説明会の動画を公開しました。

【説明会動画URL】

<https://www.net-presentations.com/9233/20251126/xihpcf/>



説明動画

「アジア航測 統合報告書2025」を公開

- 2026年2月26日、株主・投資家をはじめとする全てのステークホルダーの皆さまに、当社の持続的成長と企業価値の向上についてご報告することを目的とし、「アジア航測 統合報告書2025」を発行しました。
- 主要ガイドラインに基づき、当社の基礎情報・財務データ・経営戦略・サステナビリティ情報などを抽出して掲載しています。

【URL】

<https://www.aiiko.co.jp/documents/20260226AASIntegrated report2025.pdf>



アジア航測 統合報告書2025

第16回「エコとわざ」コンクール 「アジア航測賞」の表彰式を実施

- 「エコとわざ」コンクールにて「アジア航測賞」を進呈、ご本人とご家族を当社の調布運航所へご招待し、表彰式を行いました。

受賞作品

『 ごみじゃない エコのまほうで 空をとぶ 』

- 表彰式後には当社パイロットが自社所有機『JA81AJ「あおたか」』の cockpit にご案内しました。



当日の様子

イチBizアワード(2025年度)にて アジア航測賞を授与

- 地理空間情報を活用したビジネスアイデアコンテスト「イチBizアワード」でアジア航測賞を授与しました。

受賞者 杉野眞珠 様

提案タイトル あなたの“生活ルート”でリハビリを

— 日常導線を活かしたリハビリの新しいかたち —

- スマートフォンによる3Dデータ作成を活用し、屋内外をシームレスにつなぐ提案を高く評価しました。リハビリに加え、ウォカブル、バリアフリー分野への展開可能性があり、PLATEAUとの親和性も魅力的です。



授賞式の様子

CDP2025気候変動分野における「B」スコア獲得

- 国際的な環境非営利団体CDPによる2025年評価において、「気候変動」分野で当社グループの取り組み・情報開示が評価され、「B」スコアを獲得しました。
- 本評価は、気候変動に伴うリスクと機会を認識し具体的な対応を行っている点が評価されたもので、今後もサプライチェーン全体での排出量削減を推進します。

CDP(Carbon Disclosure Project)

2000年に設立された英国の国際的な環境情報開示システムを運営する非営利団体。環境問題に高い関心を持つ世界の機関投資家や主要購買企業の要請に基づき、企業や自治体を対象に、世界的な環境問題対策に対する取り組みを調査・分析し、対策を促すことを主な活動としている。

「健康経営優良法人2026」認定

- 健康経営に関する取り組みが評価され「健康経営優良法人2026」(大規模法人部門)に認定され、2023年より4年連続となります。
- 当社は、今後も従業員とその家族、周囲の仲間の健康を意識する機会を提供し、健康維持・増進につながる活動を継続してまいります。



2026

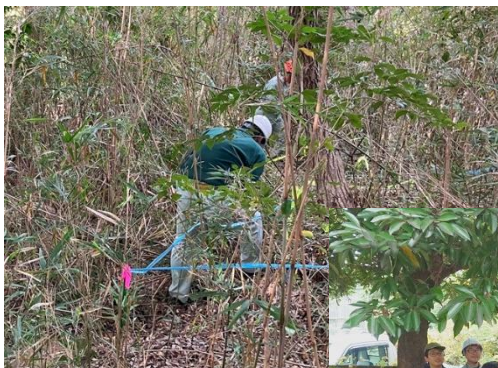
健康経営優良法人

KENKO Investment for Health

大規模法人部門

《地域環境保全活動》 「かわさき里山コラボ事業」活動実施

- 川崎市が構築した「かわさき里山コラボ事業」は管理が十分に行き届かない市域の緑地において、企業等の参加協力を得ながら実践的な里山の保安全管理を行う仕組みで、当社は「真福寺谷特別緑地保全地区」を管理しています。
- 当日は川崎市のご担当者の協力を得ながら、当社職員が現地でササ刈りやごみ収集を行い、日照条件の違いによる植生変化を検証する実験フィールドとしての環境整備を進めました。



当日の様子

各地域でのボランティア活動等に参加

- 当社では毎月、全国各地の拠点社員が積極的にボランティア活動等に参加しています。



七ヶ浜町菖蒲田浜植樹会



令和7年度神奈川県里山里山保全活動



名古屋国道19号線沿い清掃活動



大和川・石川クリーン作戦

2025年度公益財団法人深田地質研究所 深田賞

- 当社名誉フェローの今村遼平が2025年度公益財団法人深田地質研究所の「深田賞」を受賞しました。



島根県益田市市政功労賞

- 当社は、四航コンサルタントと共に史跡「益田氏城館跡(七尾城跡)」の赤色立体地図を作製・提供した取り組みが評価され、教育および文化振興に寄与したとして、市政功労賞を受賞しました。



第7回 滋賀県優良業務表彰

- 当社社員が、第7回滋賀県優良業務表彰において【森林土木部門】の優秀賞を受賞しました。



神奈川県業務 事務所長表彰

- 神奈川県における以下の2件の業務について各事務所長表彰を受賞しました。

<令和7年度 優良工事等施工業者所長顕彰>

事務所名: 神奈川県平塚土木事務所

業務名: 平塚土木事務所管内一円 土砂・洪水氾濫調査検討業務委託

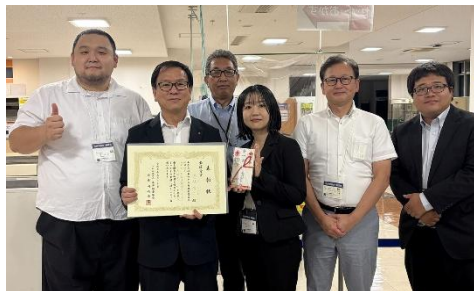
<令和7年度 優良工事等所長表彰>

事務所名: 神奈川県西部漁港事務所

業務名: 令和5年度県営漁港整備事業(県単)航空レーザ・深淺測量業務委託 / 令和6年度県営漁港整備事業(県単)航空レーザ・深淺測量業務委託 合併

海洋調査協会「第42回技術発表会」 最優秀賞

- 当社社員が、海洋調査協会「第42回技術発表会」で最優秀賞を受賞しました。
- 当社は昨年度に続く連続受賞となります。



防衛省陸上自衛隊中部方面総監より 感謝状

- 当社は、令和6年能登半島地震及び奥能登豪雨災害において、自社航空機で撮影した航空写真を提供し、被害状況の早期解明や部隊運用構想決定に貢献したとして感謝状を授与されました。



■本資料およびIRに関するお問い合わせ先

アジア航測株式会社 総務部IR室

E-mail: info@ajiko.co.jp

URL: <https://www.ajiko.co.jp/ir/>